

12年1月4日

## 推薦図書 100 冊とその購入及び利用について

石和田 雄二

会社の経営状態のこともあり、  
09年9月から、会社の図書購入を辞めていましたが、  
会社も何とか持ち直してきているので、文化活動の一環として再開します。

時代の大きな転換期でもあり、  
経済を超えて益々グローバルする環境の中で、  
技術や時代の流れを掴み、異質な文化や様々な人間性に触れ、  
新たな地平を開いた、或いは拓こうとした人々に学ぶことが大切です。

インターネットも、テレビも、情報源は身近な所に幾らでもありますが、  
書籍端末にダウンロードするデジタルコンテンツも便利ですが、  
ポータブルで、考えながら読み、読みながら考えられる、  
しかも、それぞれに手触り感がある書籍そのもの、  
この利便性は高まるばかりだと思います。

私は、トヨタ転勤になった30数年前から家族で図書館に行くのが習慣になり、  
今でも、出版後少し経った本を市民図書館から月に10冊位借ります。  
それでも、新しい本の香りというか、手触りは又、格別、  
土日の東京駅からの出勤時に、  
丸善や三省堂でビジネス書や文庫本を立ち読みし、時々、買います。

「おせっかい」な気もしますが、  
社員の皆さんに読んで貰いたい本を、この2年半に出版された本から  
10カテゴリーに分け、100冊を選びました。  
ビジネスや技術に関わるものの他に、  
人がどう生きたかを伝える評伝や生き方のヒントになるHow To本もあります。  
1冊1冊は特別高くも無いので、購入する場合のガイドにして貰っても結構です。

会社としては、経営管理本部人事教育Gの下での会社図書として購入します。  
これから購入するので揃うのは1ヵ月後になりますが、  
既存の図書もあるので、それも併せて利用して頂ければ幸いです。  
会社に余裕も出てくるので、  
これからは年2回、新旧併せて約100冊の図書を購入したいと思います。  
社員の皆さんで、読みたい本、他の人に読ませたい良書があれば、推薦下さい。